

教育報告

平成17年度に麻酔科が取り組んだ心肺蘇生教育について

館岡 一芳¹⁾ 神田 浩嗣¹⁾ 大友 重明¹⁾ 尾山 悦子²⁾
 大門 伸吾³⁾ 塩谷 隆太³⁾ 中谷真紀子³⁾ 櫻井 行一¹⁾

はじめに

2005年11月30日に上川北部救急業務高度化推進協議会による第5回救急症例研究会が開催された。その会場で、当院でも院内にAEDを設置する方向でまとまった。

当院の取り組み

2004年5月から「院内BLS+AED講習会」を行ってきた。2005年12月末までに計17回開催した。今年度に限れば、2月に行われた第9回から12月に行われた第17回までに合計9回開催した。さらに日本救急医学会と北海道ACLS協会共催の名寄ACLSコースを1度開催することができた。

院内講習会の詳細を表1に示す。インストラクターとして参加した者は医師が延べ22名、そのうち麻酔科研修医が延べ5名であり、看護師が延べ5名であった。受講者は医師1名、看護師44名。このうち6名は町立下川病院の看護師である。看護師以外からは放射線技師1名、薬剤師1名が参加した。今年度は医療職以外の受講はなかった。

過去2年間の院内講習会をまとめたものを表2に示す。2年間を通し約70人の看護師が受講し院内での受講率は25%（12月20日付け看護師260名）である。

10月1日には、会場を市立名寄短期大学とし第46回ACLS北海道名寄ICLSコース行った。旭川医科大学救急医学講座助教授藤田智先生と館岡がコースディレクターとして会を開催した。麻酔科医神田浩嗣がコースコーディネーターとして活躍

した。詳細は表3に示す。当日は27名のインストラクターのもとで、当院看護師4名、職員1名を含む24名が受講した。なおインストラクターの旅費・宿泊費は名寄市立総合病院が負担した。

今後の方針

国内で多くの施設においてAEDが設置されるようになった。当院でも遅まきながらAEDを設置する予定である。AEDの設置に当たっては、その使用のみならず正しい心肺蘇生を身につけなくてはいけない。心肺蘇生における一連の手技の中にAEDを位置づけなくてはいけない。

今まで院内講習会を手伝ってくれた看護師2人、須田亜希子さん・田村郁子さんらには大変感謝しています。しかし、次々に退職してしまいました。これから講習会を手伝い盛り上げてくれるスタッフを募集しております。

¹⁾ 名寄市立総合病院 麻酔科
²⁾ 名寄市立総合病院 看護師
³⁾ 名寄市立総合病院 研修医

表1 院内BLS+AED講習会, インストラクター・受講者内訳

	開催年月日	インストラクター		受講者			
		医師 (研修医)	看護師	医師	看護師 (他院)	院内職員☆	院外
第9回	2005年2月3日	3 (0)	2	0	3 (0)	0	0
第10回	2005年3月4日	3 (1)	1	0	6 (0)	0	0
第11回	2005年5月6日	3 (1)	0	0	5 (0)	1	0
第12回	2005年6月9日	1 (0)	0	0	5 (0)	0	0
第13回	2005年7月7日	3 (1)	1	1	5 (0)	0	0
第14回	2005年8月4日	1 (0)	0	0	3 (2)	0	0
第15回	2005年9月7日	2 (0)	0	0	3 (0)	1	0
第16回	2005年11月24日	4 (1)	1	0	5 (2)	0	0
第17回	2005年12月6日	2 (1)	0	0	9 (2)	0	0
	合計	22 (5)	5	1	44 (6)	2	0

☆院内職員とは医師・看護師を除く当院の職員

() 内はそれぞれ研修医と他院の看護師の内訳を示している

表2 2年間における院内BLS+AED講習会, インストラクター・受講者内訳

	インストラクター		受講者			
	医師	看護師	医師	看護師 (他院)	院内職員☆	院外
第1～17回	46	14	10	71(6)	9	2

() 内は他院の看護師の内訳を示している

表3 名寄ICLSコース (日本救急医学会・北海道ACLS協会共催)

インストラクター	受講者		
	看護師	救急救命士	その他
27	16	7	1